

登録コード	E7222200	開講年度	2026					
授業科目	水辺活動実習					担当教員	瀧 直也 他	
英文授業名	Practice of Water-Front Activities					副担当	橋本 政晴	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					体験活動の意義を理解し、実習を企画・運営できる資質を養う。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					河川及び湖沼でのカヤック活動を安全に行うことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	野尻湖及び犀川等の河川での集中授業（7月・8月，3日間）として実施する。フォワードストローク、スweepストローク、リーン等の技術を習得し、フェリーグライドやエディキャッチ等を駆使したダウンリバーの実習をとおして、故障および河川での野外活動の専門的な知識，技術，安全な指導方法等を学ぶと。							
(5)授業計画	学部での事前学習 ガイダンスの実施 野尻湖での集中授業（7月週末2日間）予定 第1日目：野尻湖でのカヤック技術講習 第2日目：野尻湖でのカヤック技術講習 第3日目：河川（犀川・千曲川を予定）でのダウンリバー							
(6)成績評価の方法	授業をとおしての授業態度（50％）とレポート（50％）で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。							
(7)成績評価の基準	授業をとおしての授業態度では，授業で行う各種活動に取り組めれば「水準にある」、他のメンバーと協調して活動に取り組めれば「やや上にある」，他のメンバーと協調して活動に取り組むとともにスノーケリングなどの海浜における野外活動の高い技能が身に付けば「かなり上にある」，他のメンバーと協調して活動に取り組むとともにスノーケリングなどの海浜における野外活動の突出した技能が身に付けば「卓越している」と評価する。 レポートでは，問題の設定が適切であり，その問題の背景を説明できており，その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 から の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。							
(8)事前事後学習の内容	ガイダンスで説明する内容を理解し，事前に必要な携行品等を準備する。							
(9)履修上の注意	事前にガイダンスを実施する。ガイダンスに参加しない学生は，授業の参加を認めない。 活動に必要な雨具等は、各自で準備する。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールにて受付ける。メールアドレス：taki@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	特になし							
【参考文献】	なし							